

第2回 商品売買取引 解答・解説

第1問

(1)

損益計算書 (単位:円)

摘要	先入先出法	
I 売上高		(791,000)
II 売上原価		
1. 商品期首たな卸高		(80,000)
2. 当期商品仕入高		(528,000)
合計		(608,000)
3. 商品期末たな卸高		(110,000)
差引		(498,000)
4. 棚卸減耗費		(4,400)
5. 商品評価損		(14,400)
商品売上原価		(516,800)
売上総利益		(274,200)

(2) 先入先出法による商品の貸借対照表価額 91,200 円

解説

1. 売上割引の修正

(借) 売上割引	8,000	(貸) 売上	8,000
----------	-------	--------	-------

2. 販売数量の計算

		売上	
		売上値引・割戻	14,000
		売上割引	8,000
P/L売上高 791,000	T/B売上 783,000	総売上高 805,000	

∴ 販売数量 = 総売上高 805,000 ÷ @700 = 1,150 個

3. 期末帳簿数量

商 品	
期 首 200 個	販売数量 1,150 個
当期仕入 1,200 個	期 末 * 250 個

* 200 個 + 1,200 個 - 1,150 個 = 250 個 (貸借差額)

4. 売上原価の計算 先入先出法

<売上原価>

原 価		売上原価	
期首商品原価		売上原価	
@400 × 200 個 = 80,000	→	@400 × 200 個 = 80,000	
当期仕入原価		@440 × 950 個 = 418,000	
		<u>498,000</u>	
@440 × 1,200 個 = 528,000	→	期末商品原価	
		@440 × 250 個 = 110,000	

<期末商品の評価>

原価@440	商品評価損	棚卸
	14,400 * 2	減耗費
時価@380	B/S 価額	4,400
	91,200 * 3	* 1
	実地	帳簿
	240 個	250 個

P/L 期末商品棚卸高 = @440 × 250 個 = 110,000

* 1 = @440 × (250 個 - 240 個) = 4,400

* 2 = (@440 - @400) × 240 個 = 14,400

* 3 = @380 × 240 個 = 91,200

<決算整理仕訳>

(借) 仕 入 80,000	(貸) 繰 越 商 品 80,000
繰 越 商 品 110,000	仕 入 110,000
棚 卸 減 耗 費 4,400	繰 越 商 品 18,800
商 品 評 価 損 14,400	
仕 入 18,800	棚 卸 減 耗 費 4,400
	商 品 評 価 損 14,400

第2問

		<u>損益計算書</u>	(単位:円)
I	売上高		(3,510,000)
II	売上原価		
	1. 商品期首たな卸高		(750,000)
	2. 当期商品仕入高		(2,700,000)
	合計		(3,450,000)
	3. 商品期末たな卸高		(600,000)
	差引		(2,850,000)
	(商品評価損)		(35,250)
	商品売上原価		(2,885,250)
	売上総利益		(624,750)
III	販売費及び一般管理費		
	1. (棚卸減耗費)		(12,000)
	販売費及び一般管理費合計		(12,000)
	営業利益		(612,750)
IV	営業外収益		
	1. (仕入割引)		(90,000)
	営業外収益合計		(90,000)
V	営業外費用		
	1. (売上割引)		(60,000)
	営業外費用合計		(60,000)
	経常利益		(642,750)

解説

1. 売上戻り・売上値引・割戻

(借)	売	上	135,000	(貸)	売	上	戻り	135,000
	売	上	52,500		売	上	値引・割戻	52,500

2. 仕入戻し・売上値引・割戻

(借)	仕	入	戻し	(貸)	仕	入	戻し	120,000
	仕	入	値引・割戻		仕	入	戻し	30,000

3. 売上原価と期末商品の推定

① 期末商品の推定

		原価	
T/B繰越商品	750,000	売上原価	2,850,000 * 1
当期純仕入高	2,700,000		期末帳簿棚卸高

* 1 について

前T/B売上	3,697,500	
前T/B売上戻り	△ 135,000	
前T/B売上値引・割戻	△ 52,500	
P/L売上高	3,510,000	
前T/B売上値引・割戻	52,500	
原価率上の売上高	<u>3,562,500</u>	×0.8=2,850,000

原価率算定上、分母となる売上高については売上戻りのみを控除する。これは、売上戻りが売上取引の取り消しであるのに対して、売上値引・割戻は売上取引が成立しているためである。

* 2 = 貸借差額

したがって、帳簿棚卸高の個数は $600,000 \div @600 \text{円} = 1,000 \text{個}$ である。

(借) 仕入	750,000	(貸) 繰越商品	750,000
繰越商品	600,000	仕入	600,000

② 期末商品の評価

@600	商品評価損 28,500 * 3	6,750 * 2	棚卸減耗費 12,000 * 1
@570	B/S価額 552,750 * 4		
@375			
	良品	実地	帳簿
	950個	980個	1,000個

* 1 棚卸減耗費 = @600 × (1,000個 - 980個) = 12,000

* 2、* 3

商品評価損 = (@600 - @375) × 30個 + (@600 - @570) × 950個 = 35,250

* 4 B/S 価額 (繰越商品の次期繰越額) = @570 × 950個 + @375 × 30個 = 552,750

(借)	棚卸減耗費	12,000	(貸)	繰越商品	47,250
	商品評価損	35,250			
	仕入	35,250		商品評価損	35,250

第3問

	仕 訳 (単位:円)			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1	当座預金 手形売却損 売掛金	141,000 9,000 84,000	売 上	234,000
2	未着品	150,000	支払手形	150,000
3 (B社)	売掛金 受取手形	70,000 30,000	未着品 未着品販売益	80,000 20,000
3 (C社)	未着品	100,000	買掛金 支払手形	70,000 30,000
4	仕 入	161,500	未着品 買掛金 当座預金	70,000 84,000 7,500
5	積 送 品	431,800	仕 入 現 金	425,000 6,800
6	受託販売	3,000	当座預金	3,000
7	当座預金	160,000	受託販売	160,000
8(D社)	当座預金 支払手数料 支払運賃	153,000 4,000 3,000	積送品売上	160,000
8(E社)	受託販売	157,000	当座預金 受取手数料	153,000 4,000

解説

- (1) 荷為替手形の割引料は、手形売却損勘定(手形の割引と同様)を用いる。
 (6)~(8) 受託販売勘定は、販売委託者に対する受託者の債権債務勘定である。

受託販売	
(販売委託者に対する債権)	(販売委託者に対する債務)

受託販売	
(6)当座預金 3,000 (8)諸口 157,000 <hr style="width: 100%;"/> 160,000	(7)売掛金 160,000 <hr style="width: 100%;"/> 160,000

第4問

一販売基準

仕 訳 (単位:円)				
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1	割 賦 売 掛 金	300,000	割 賦 売 上	300,000
2	当 座 預 金	25,000	割 賦 売 掛 金	25,000
3	仕 訳 な し			
4	取 戻 商 品	20,000	割 賦 売 掛 金	125,000
	取 戻 商 品 損 失	80,000		
	貸 倒 損 失	25,000		

一回収基準(対照勘定法)

仕 訳 (単位:円)				
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1	割 賦 販 売 契 約	300,000	割 賦 仮 売 上	300,000
2	当 座 預 金	25,000	割 賦 売 上	25,000
	割 賦 仮 売 上	25,000	割 賦 販 売 契 約	25,000
3	繰 越 商 品	140,000	仕 入	140,000
4	取 戻 商 品	20,000	繰 越 商 品	100,000
	取 戻 商 品 損 失	80,000		
	割 賦 仮 売 上	125,000	割 賦 販 売 契 約	125,000

第5問

仕 訳 (単位:千円)				
	借 方	金 額	貸 方	金 額
	繰延割賦売上利益	5,760	繰延割賦売上利益戻入	5,760
	売 掛 金	85,000	割 賦 売 掛 金	85,000
	仕 入	120,000	繰 越 商 品	120,000
	繰 越 商 品	180,000	仕 入	180,000
	繰延割賦売上利益控除	16,000	繰延割賦売上利益	16,000
	貸倒引当金繰入	7,840	貸倒引当金	7,840

損益計算書

(単位:千円)

売上高	
一般売上高	600,000
割賦売上高	<u>340,000</u>
売上高合計	940,000
売上原価	
商品期首商品たな卸高	120,000
商品当期商品仕入高	<u>(900,000)</u>
合計	(1,020,000)
商品期末商品たな卸高	<u>(180,000)</u>
商品売上原価	<u>(840,000)</u>
売上総利益	(100,000)
販売費および一般管理費	
(貸倒引当金繰入)	(7,840)
(繰延割賦売上利益控除)	<u>(16,000)</u>
販売費及び一般管理費合計	<u>(23,840)</u>
営業利益	(76,160)
特別利益	
(繰延割賦売上利益戻入)	<u>(5,760)</u>
特別利益合計	<u>(5,760)</u>
当期純利益	<u><u>(81,920)</u></u>

解説(単位はすべて千円)

1 割賦販売の原価率算定

原 価		売 価	
期首手許 120,000	当期払出原価	割賦販売売価 1,000,000	一般売上の 割賦販売売価
当期仕入 900,000	840,000		$600,000 \times 1.1$ = 660,000
	期末手許 180,000		割賦売上 340,000

$840,000 \text{ 千円} / 1,000,000 \text{ 千円} = 0.84$

2 割賦売掛金の計算

割賦売掛金	
期首 $36,000 * 1$	当期回収 * 2 191,000
当期割賦売上 340,000	当期未回収 185,000

回収期限到来分: 85,000 (売掛金に振替)
 回収期限未到来分: 100,000

*1 前 T/B 繰延割賦売上利益 $5,760 \div 0.16 = 36,000$

*2 貸借差額

3 貸倒引当金の計算

売掛金: $(243,000 + 85,000) \times 3\% = 9,840$

割賦売掛金: $(185,000 - 85,000) \times 4\% = 4,000$

合計: 13,840

当期繰入額: $13,840 - 6,000 = 7,840$

第6問

仕 訳 (単位:千円)				
	借 方	金 額	貸 方	金 額
	貸倒引当金繰入	1,600	貸倒引当金	1,600
	繰延割賦売上利益	100,000	繰延割賦売上利益戻入	100,000
	仕 入	100,000	繰越商品	100,000
	繰越商品	172,500	仕 入	172,500
	繰延割賦売上利益控除	64,000	繰延割賦売上利益	64,000

損益計算書

(単位:千円)

I 売上高		
1	試用売上高	125,000
2	割賦売上高	<u>546,000</u>
		671,000
II 売上原価		
1	期首商品	100,000
2	当期仕入高	(500,000)
	計	(600,000)
3	期末商品	
	手許商品	(150,000)
	試用品	<u>(22,500)</u>
	商品売上原価	<u>(427,500)</u>
	売上総利益	(243,500)
III 販売費および一般管理費		
	(貸倒引当金繰入)	(1,600)
	(繰延割賦売上利益控除)	<u>(65,600)</u>
	販売費および一般管理費合計	<u>(68,800)</u>
	営業利益(経常利益)	(177,900)
IV 特別利益		
	(繰延割賦売上利益戻入)	<u>(100,000)</u>
	特別利益合計	<u>(100,000)</u>
	当期純利益	<u><u>(277,900)</u></u>

解説

1 原価率の算定

原 価		売 価	
期首手許 100,000	当期払出原価 450,000	割賦販売売価 750,000	当期割賦売上 546,000
当期仕入 500,000			試用売上の 割賦販売売価 125,000×1.2 =150,000
	期末手許 150,000		試用仮売上の 割賦販売売価 45,000×1.2 =54,000

割賦販売の原価率： $450,000 / 750,000 = 0.6$

試用販売の原価率： $0.6 \div 1.2 = 0.5$

2 試用品の期末有価

$45,000$ 千円 (試用仮売上) $\times 0.5$ (試用販売の原価率) = $22,500$ 千円

3 繰延割賦売上利益控除の算定

割賦売掛金 (千円)	
期首 250,000	当期回収
当期割賦売上 546,000	636,000
	期末 160,000

$160,000$ 千円 (期末割賦売掛金) $\times (1 - 0.6)$ (割賦販売の利益率) = $64,000$ 千円